

警鐘：新型コロナウイルス感染により血栓症発症リスクが増大

新型コロナウイルス感染では、発熱や咳等の呼吸器症状が最も頻繁に現れますが、血管に炎症を起こし血栓症を発症することもあります。特に重症者では血栓症（深部静脈血栓症、肺血栓塞栓症、脳梗塞、心筋梗塞等の動静脈血栓症）を発症する頻度が高く、全身症状を悪化させる因子となっています。

下記の事項に留意し、新型コロナウイルス感染のリスクを下げるとともに、血栓症の併発を予防しましょう。

（１） 3密の回避、手洗いの実行、継続運動

地域での感染症の蔓延を防ぐには不可欠な方法です。不自由ですが努力するしかありません。外出を避けるとどうしても運動量が減ります。早朝等3密を避けながら近所の公園等を散歩しましょう。それも困難な場合は、足の背屈運動や屈伸運動等、屋内でできる運動を継続しましょう。

（２） 血液サラサラのお薬の内服継続

血栓症予防薬を内服している患者さんは、内服を継続することが大切です。慢性疾患の内服薬の処方箋に関しては、病院での3密に配慮して様々な工夫をされている病院・医院があります。お薬を切らさないようにして、内服を継続しましょう。

（３） 血栓症の情報の共有

万一血栓症の既往のある方や血栓症予防薬の投与を受けておられる方が新型コロナに感染したら、主治医に血栓症の既往があること、現在の治療方法等々をお話しし、情報を共有しましょう。治療方法を変更する必要がある場合もあります。